

## 事業実施にあたって

平成27年度は、戦後70年、調布市国際交流平和都市宣言から25年という節目に当たります。戦争を知らない世代が増えていく中、唯一の被爆国として、悲惨な戦争を風化させることなく、戦争を二度と繰り返さないよう、平和の尊さや命の大切さなどを次世代へと受け継いでいかなければなりません。

調布市は、「調布市非核平和都市宣言」及び「調布市国際交流平和都市宣言」の理念のもと、平和施策の推進を基本計画の施策の一つとして位置付け、平成22年に核兵器廃絶のための国際的な都市連帯組織である平和首長会議に加盟し、広く核兵器廃絶を訴えるため、様々な取組を実施しています。

本事業は、平和に関する取組の一つとして、調布市から中学生15人を広島に2泊3日で派遣し、8月6日に開催された平和記念式典への参加や広島平和記念資料館の見学、被爆体験者の講話を通じ、その歴史と平和の大切さを学んでもらうため、新たに実施しました。

また、事業実施までの間、市民の皆様に平和の想いを込めて折っていただいた折り鶴は、約5万羽お寄せいただき、その一部を本事業で中学生が、現地である広島原爆の子の像にささげました。

体験で感じた中学生の声が報告書を通じて広がり、一人でも多くの方が平和の尊さを改めて感じ、考えるきっかけとなれば幸いです。

調布市

# 目 次

---

## 第1部 宣言等

---

平和首長会議加盟認定証	1
調布市非核平和都市宣言	2
調布市国際交流平和都市宣言	3

---

## 第2部 事業報告

---

参加者紹介	7
事前説明会	8
行程表	9
写真による行動記録	10
被爆体験者の講話	15
見学先紹介	16
参加者感想文	18
広島関連事業報告	34
市長メッセージ	36
平和カレンダー	41

---

## 第3部 資料

---

募集チラシ	45
式典次第	49